

日 本 電 線 工 業 会 規 格

J C S

耐燃性ポリエチレン被覆屋内用通信電線

JCS 9074 : 2022

無断複写禁止

Unauthorized Duplication/Copying is Strictly Prohibited

(一社) 日本電線工業会

2022年4月 改正

一般社団法人 日本電線工業会

まえがき

この規格は、日本電線工業会規格管理規程に基づいて制定した団体規格である。

この規格の適用は、知的財産権に関わるか否かの確認を含めて、製品の生産者又は規格の利用者の責任において行われなければならない。

この規格は、日本電線工業会 通信ケーブル専門委員会の審議によって改正したものであり 2022 年 4 月 27 日から発効し、発効の日から少なくとも 5 年を経過するまでに日本電線工業会の専門委員会の審議に付され、速やかにこれを確認し、継続、改正又は廃止の処置がなされる。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 種類及び記号	1
4 特性	2
5 材料, 構造及び加工方法	3
5.1 耐燃性ポリエチレン絶縁屋内用平形通信電線	3
5.2 ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシース屋内用通信電線	3
6 試験方法	3
6.1 外観	4
6.2 構造	4
6.3 導通	4
6.4 導体抵抗	4
6.5 絶縁抵抗	4
6.6 静電容量	4
6.7 耐電圧	4
6.8 絶縁体及びシースの引張り	4
6.9 加熱	4
6.10 耐寒	4
6.11 難燃	4
6.12 発煙濃度	4
6.13 燃焼時発生ガスの酸性度及び導電率	5
7 検査	5
8 包装	5
9 製品の呼び方	5
10 表示	5
10.1 電線の表示	6
10.2 包装の表示	6
付表	7
解説	8

耐燃性ポリエチレン被覆屋内用通信電線

Flame retardant polyethylene extruded communication wires for indoor use

1 適用範囲

この規格は、絶縁体又はシースとしてポリエチレン樹脂を主体とした耐燃性コンパウンド（以下、耐燃性ポリエチレンという。）を施したポリエチレン絶縁屋内用平形通信電線及びポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシース屋内用通信電線（以下、電線という。）について規定する。ただし、電線の使用温度範囲は、 -15°C から $+60^{\circ}\text{C}$ までとする。

なお、この電線は、鉛、カドミウム、水銀、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル、ポリ臭化ジフェニルエーテルを意図的に含まず、かつ、この電線を構成する材料の中で、プラスチック材料はハロゲンフリー¹⁾であることを特徴としている。

注¹⁾ この規格におけるハロゲンフリーとは、塩素及び臭素を含まないことをいう。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS C 3005 ゴム・プラスチック絶縁電線試験方法

JIS C 3102 電気用軟銅線

JIS C 3666-2 電気ケーブルの燃焼時発生ガス測定試験方法－第2部：電気ケーブル材料の燃焼時における pH 及び導電率による発生ガスの酸性度測定

注記 **IEC 60754-2** Test on gases evolved during combustion of electric cables－Part 2: Determination of degree of acidity of gases evolved during the combustion of materials taken from electric cables by measuring pH and conductivity, Amendment 1 (1997) が、この規格と一致している。

JIS C 3612 600 V 耐燃性ポリエチレン絶縁電線

3 種類及び記号

電線の種類及び記号は、**表 1** のとおりとする。